

アクリル塗料のメリット

・価格が安い

アクリル塗料は、現在の普及品シリコン塗料の約7割の費用で塗装工事を行う事が出来ます。

寿命は3～6年と短いですが、お安い塗料ですので何回も塗り替えをして外観をリフレッシュしたい方にはオススメです。

低コストで塗装工事を行う事が出来るのは、アクリル塗料にしかない大きな魅力です。

・ツヤがありはっきりとした色合いになる

アクリル塗料は発色が大変よく、鮮やかな色合いとする事が出来ます。

ハッキリとした色合いを好む方には、とてもオススメです。

・塗料の種類が豊富

アクリル塗料の歴史は長いので、他の塗料の種類に比べると製造量が物凄く多くあります。

多くの種類から、好みの塗料を選ぶことができます。

・使いやすい

アクリル塗料は1液型の塗料が多く、希釈をしたり攪拌したりなどの手間がかかりにくく使いやすい塗料です。硬化不良を起こしにくいので、素人さんのDIYでも簡単に扱う事が出来ます。

・重ね塗りに富んでいる

アクリル塗料は付着力が高いため、短期間での塗り替えの際に付着しやすくとても便利です。

ただし、塗膜に既に劣化が発生している場合は、重ね塗りをすると不具合が起きてしまう事があります。

アクリル塗料のデメリット

・劣化が早い塗膜

塗膜の寿命が短く3～6年ほどしかありませんので、早く劣化してしまうのが最大の難点です。

アクリル塗料は劣化因子ラジカルが発生しやすく、酸化還元反応が起こりやすくなってしまい劣化しやすい塗膜となってしまいます。

その為、メンテナンスを頻繁に行わないといけなく、手間がかかってしまう塗膜となってしまいます。

・塗り替えの際に面倒になる場合がある

アクリル塗膜は劣化しやすいので、はがれやすい塗膜となってしまいます。

その為、既存塗膜がアクリル塗膜である場合の塗り替えは、既存アクリル塗膜が既に劣化している場合、扱いが厄介になってしまいます。既存塗膜劣化部分を綺麗に取り除かないと、新規塗膜が旧塗膜に引っ張られてしまい精度が悪くなってしまう事があります。

素地ごしらをきちんと行う事で、この現象は回避する事が出来ます。

・塗膜が固いのでヒビが入りやすい

塗膜が固いので、ひびが入りやすい塗膜となってしまいます。

建物に動きがある場合はすぐにひびが入ってしまいますので、オススメ出来ません。

・浸透性が良すぎる

浸透性が良すぎる塗膜ですので室内の湿気を外部に逃がす事が出来るのですが、逆に外部の湿気も室内に通してしまう性質があります。湿気が室内に溜まりやすくなるので、湿気が多い環境の建物にはオススメ出来ません。

樹脂別に見た期待耐用年数の違い

	期待耐用年数	塗替目安
フッ素樹脂塗料	20年	15～20年
パーフェクトトップ	15年	10～15年
シリコン樹脂塗料	13年	7～13年
アクリル樹脂塗料	6年	3～6年

期待耐用年数：素材、旧塗膜に致命的な影響を与えない状態を維持できる期間

塗替目安：美観維持が出来ておらず、塗膜表層の劣化が始まって来る期間

*** 上記年数は、保証年数とは異なります。**

注意事項

各年数は地域性、立地条件、色彩等により差異が生じる可能性があります。

また、素材により異なりますが、屋根等の条件的に厳しい部位での塗替え目安年数は一般(壁面)の約1/2～2/3の年数になります。